

風力発電展／駒井ハルテックが出展／300キロワット風力発電機 「KWT 300」紹介

2020/03/23 日刊産業新聞 6 ページ 684 文字

駒井ハルテックはこのほど東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催された「第8回風力発電展」に出展し、300キロワット風力発電機「KWT 300」を紹介した。KWT 300は台風による突風などにも耐える設計で、高耐震モデルや寒冷地モデルなど設置条件に合わせた選択が可能。搬入・施工が容易な設計で、同社が開発した「ナセル架設システム」により60トンクレーンでも架設可能。大型重機を利用できない離島や山岳地帯で採用が広がっている。2019年にはフィリピンのロンブロン島にKWT 300を3機設置した。本田技研工業と共同で風力発電の余剰電力を電動二輪車のバッテリーに充電するシステムを導入し、エネルギーの地産地消、CO2削減に貢献している。離島や山岳地、ロシア極東地域などの独立電源地域での再生可能エネルギーの課題解決としてKWT 300を提案している。

また共同出展した基礎杭用の杭打機（パイプロハンマ）の製造、販売を行う調和工業（本社＝東京都品川区、中城延浩社長）は洋上風力発電の基礎杭など大口径鋼管杭に対応した特殊工法「RSプラス」を展示した。RSプラスは港湾空港技術研究所、日本製鉄と共同開発した鋼管杭施工の新工法で、ウォータージェット併用パイプロハンマで杭を打設することにより、従来工法より大幅な低騒音・低振動施工を実現した。ウォータージェット用配管を用いて根固め部と杭周面部にセメントミルクを充填することで、打撃工法以上の高支持力性を発揮する。杭径2500ミリまで対応可能で、さらなる大口径杭への対応を進めている。大型風力発電機の基礎杭向けなどでの活用を目指す。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All

Rights Reserved.